

「めあて」「まとめ」「振り返り」の質の向上を図り、 学びの実感をもてる授業づくりを推進しましょう

今年度、西部教育事務所では、子供たちが学びの実感をもてる授業づくりを目指して、「めあて」「まとめ」「振り返り」の質の向上を図ることを推進していきます。

1 子供たちが考えてみたいと思うめあてにしましょう

子供たちの既存知識を揺さぶり問いを引き出したり、活用できる知識・技能を意識させたりして、子供たちが考えてみたいと思うようなめあてにしましょう。

2 子供たちの言葉をつないでまとめましょう

子供たちの考えを集団で比較したり、検討したりする中で、教師はめあてに対するまとめを意識して子供たちの発言を聞き取り、子供たちの言葉をつないでまとめるようにしましょう。

3 学びの実感をもてる振り返りにしましょう

教科や学習内容の特性に応じて、視点を明確にして1時間の学習を振り返らせ、学びの実感をもてる振り返りにしましょう。

4月に配布したリーフレットを補完するDVDを作成しましたので、ご活用の際は、事務所までお問い合わせください。



学びの実感

- ・自己の変容や成長を感じる
- ・学んだ内容や方法の自覚等

3

振り返り

「〇〇は、～のように考えればいいんだな。」
「今日学んだことは、△△にも生かせそう。」

2

まとめ

「めあてを達成できた！」
「みんなの意見を聞いて、〇〇の考え方もあることがわかった。」



1

めあて

「なぜ、〇〇になるのかな？」
「考えて(やっ)てみたい。」
「昨日の〇〇が使える！」

自他を尊重し合う学級づくりに努めましょう

今年度、西部教育事務所では、個を育てる活動と集団を育てる活動を相互作用させ、自他を尊重する心を育む積極的な生徒指導の充実を図っていきます。

生徒指導の3つの機能を生かした学級経営を心がけましょう！

1 自己決定できるように、子供たちが自分で考え、解決しようと思えるような場面を設定し、自分の考えをもてるようにしましょう。

2 共感的な人間関係が築けるように、友達のかえに触れる場面を設定し、互いに認め合えるようにしましょう。

3 自己存在感が味わえるように、子供が発表する機会を多く設定し、一人一人が活躍できるようにしましょう。

生徒指導の3つの機能を、授業や日常の活動の場面で意識的に取り入れて、自他を尊重し合う学級作りに努めましょう！

自他を尊重する心

1

自己決定

「自分の考えをもつて大切だね。」

自分の考えをもつ場面の設定

2

共感的人間関係

「自分の意見を安心して伝えられる。」

互いに認め合う場面の設定

3

自己存在感

「〇〇さんが、自分の考えをいいねって言ってくれた！」

一人一人が活躍できる場面の設定